

OPPシート 单元名 年 組 番 名前	① 月 日 ()	② 月 日 ()	③ 月 日 ()	④ 月 日 ()
	め	め	め	め
	き	き	き	き
	ま	ま	ま	ま
	ふ	ふ	ふ	ふ
	単元の学習問題			
	⑧ 月 日 ()	⑦ 月 日 ()	⑥ 月 日 ()	⑤ 月 日 ()
	め	め	め	め
	き	き	き	き
	ま	ま	ま	ま
ふ	ふ	ふ	ふ	

社会科学学習指導案

場所 5年〇組教室

指導者 長期研修員 関 真克

授業の視点

本時の学習過程において、OPPシートを用いて学習過程どうしをつなぎ、前時までに学習した「単元の学習問題の答え」を基にした問いと答えを考えたことは、習得した知識を活用して社会への関わり方を選択・判断しようとする児童を育成する上で有効だったか。

1 単元名 わたしたちの生活と森林（東京書籍）

2 単元の考察

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年3月）第2節社会、第5学年における、内容の取扱い（5）のアの（イ）「森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること」、イの（イ）「森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること」及び「内容の取扱い内容の（5）については、次のとおり取り扱うものとする。ウイの（イ）及び（イ）については国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりできるように配慮すること」を基に設定した。

我が国は、国土に占める森林面積が66%であり、世界の国々と比較しても割合が高い。フィンランド65%、ロシア47%、アメリカ31%、中国22%、オーストラリア19%、南アフリカ8%（2011年/世界国勢図会 2013/14版）森林面積では、1位ロシア809万km²、2位ブラジル515万km²、3位カナダ310万km²、4位アメリカ304万km²、5位中国212万km²となっており、日本は23位で25万km²となっている。サンマリノ、カタールは0km²である。つまり、我が国は国土に占める森林の割合が高いことから、我々の生活と森林は密接な関係があると考えられる。

森林は、空気をきれいにする、山崩れや風や雪の災害を防ぐ、木材を生み出す、音を吸収する、動物たちの住まいになるなど、生活の舞台である国土の保全のほかにも、水を蓄える、きれいな水を生み出すなど、水源の涵養においても大切な働きをしている。

森林には、天然林、人工林、原生林の3種類がある。自然にできたものを天然林、人の手で植林したものを人工林と呼んで区別する。原生林は、人の手が全く入っていないものである。

天然林では、1993年に世界遺産に登録された青森県・秋田県にまたがる白神山地のぶな林は、生き物のすみかや食べ物を得られる場になっており、日本を代表する場所である。白神山地は、ガイドや保護に従事する人々の取組により維持・管理されている。また、現在でも縄文時代から手付かずの原生林が広がっているのも特徴である。

人工林では、京都市において、600年以上前から北山杉という伝統的な木材を生産している。北山杉を維持・管理する人々が年々減ってきており、手入れが行き届かない林が出てきている。北山杉は、「①苗木を育てる②植林③下草かり④枝打ち⑤間伐⑥切り出し、搬出」の工程で管理されている。

教科書に記載されている森林管理局員の話によると、「（児童には、）木のなえを植えたり間ばつしたりする体験などを通して、もっと森林とかかかわるとともに、森林とのつながりを見直し、木の大切さと林業の未来について考えてほしい」とあり、国民の一人として、国土の自然環境の維持・改善に配慮した協力の必要性を求めている。

森林を守り、育てるためには、木材を積極的に利用することが重要である。現在、30億 m^3 の人工林が成長したため、国産木材が利用可能になっている。しかし、国産木材より外国産木材の方が安価なため、外国産木材の輸入量が増加し、木材価格が下落している。そのため、林業の採算性の低下により、国産材供給量は国内全体における木材需用量（約7500万 m^3 ）の約3割（約2500万 m^3 ）に留まっている。このような林業の生産活動の停滞から、放置される人工林も見られるようになっている。

そこで、本単元の学習を通して、国土に広がる森林が国土の保全や水資源の涵養などに重要な役割を果たしていることや、森林の育成や保護に取り組む人々の工夫や努力を児童が理解できるようにしていきたいと考える。そのために、児童が国土の森林を守ったり、人工林で育った木材を使ったり、植林行事に参加して森林を育てたりするなど、自分にできることは何かを考える力を身に付けさせたい。この力を身に付けることが、習得した知識を活用して社会への関わり方を選択・判断できる児童の育成に繋がると考える。

(2) 研究とのかかわり

中央教育審議会答申（平成28年12月21日）において示された事項を「社会科、地理歴史科、公民科の改善の基本方針及び具体的な改善事項」としてまとめると、小学校学習指導要領解説社会編（平成29年7月）では、「社会科、地理歴史科、公民科では、社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を充実し、知識や思考力等を基盤として社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力、自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて現代的な諸課題を歴史的に考察する力、持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育んでいくことが求められる。（i）社会科、地理歴史科、公民科の改善の基本方針」とあり、社会への関わり方を選択・判断する力を育むことの必要性を挙げている。

また、「社会への関わり方を選択・判断する」とは、「社会的事象の仕組みや働きを学んだ上で、習得した知識などの中から自分たちに協力できることなどを選び出し、自分の意見や考えとして決めるなどして、判断すること」とある。また、児童が社会への関わり方を選択・判断するためには、知識が習得された上で、自分たちにできることを選択することの必要性を示している。

群馬県では、第3期教育振興基本計画が策定され、「基本施策2 確かな学力の育成」において、取組9では、「身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成」とある。このことから、問題解決的な学習を通して、知識を習得した上で社会への関わり方を選択・判断する児童を育成することは重要だと考えられる。

そこで、これらの児童を育成するための手立てとして「一枚ポートフォリオ（OPP：One Page Portfolio、以下OPPシートと表記）」を活用する。OPPシートは、1枚紙に単元の学習問題・各時間の「めあて」・「まとめ」・「振り返り」・「気付いたこと」を記述することで、学習過程どうしのつながりを視覚的に捉えやすい。そうすることで、前時と本時とのつながりを児童が意識でき、習得した知識を活用することにつながると考える。また、各時間の振り返りも一目で確認できるので、自分の学びを自覚しやすいと思われる。その上で自分にできる事は何かを、自分に問いかけながら考えれば、今の時点での社会への関わり方を選択・判断できるようになると考える。

そのために、OPPシートを活用することが習得した知識を活用して社会への関わり方を選択・判断しようとする児童を育成する上で有効であることを、第5学年の社会科「わたしたちの生活と森林」の本実践を通して検証する。

(3) 文言の説明及び指導・援助の方針

<OPPシートについて>

- ・OPPシートとは、「一枚ポートフォリオ（OPP：One Page Portfolio、以下OPPシート）」のことである。
- ・OPPシートは、「めあて（以下「**め**」と表記）」「気付き（以下「**き**」と表記）」「まとめ（以下「**ま**」と表記）」「振り返り（以下「**ふ**」と表記）」が1枚で確認できるシートである。

<学習過程どうしをつなぐとは>

- ・OPPシートは、1枚紙なので本時と前時のつながり、単元の学習問題との関係を捉えやすい。

<知識の習得・蓄積について>

- ・OPPシートは、1枚紙なので、単元全体の学習内容を見通したり、既習事項（**め**・**き**・**ま**・**ふ**）の振り返りをしたりすることが容易にできる。また、単元を通して継続的に活用することで知識の習得・蓄積ができる。

<OPPシートを使用する場面>

- ・本単元でOPPシートの**め**・**ま**・**ふ**は、全体指導中で同時に行う。**き**は、児童が随時記入するようにする。「**ふ**」を記入する際は、自分の学習の取組の様子について振り返るために、「**め**」に対して、どのように学習したか内容を記入するように促す。

<OPPシートはノートと併用する>

- ・ノートだけを使用することと、OPPシートの違いは、OPPシートの「扱いやすさ」にある。「単元の学習問題と各時間のめあての関係性」、**き**・**ま**・**ふ**を確認する際に、OPPシートは、ページをめくる必要がなく、視覚的に理解しやすい点にある。以下の表にOPPシートとノートの違いをまとめた。

表 OPPシートとノートの違い

	OPPシート	ノート（ワークシート）
量	1枚	複数枚
スペース	狭い（有限）	広い（ほぼ無限）
単元全体の学習の見通し	もちやすい （コマ数が振られている）	もちにくい （次ページは白紙）
振り返り	しやすい	ページをめくる手間がある
自由度	少ない	多い
複数人での共有	しやすい	しにくい
教師による評価	しやすい	しにくい

- ・OPPシートはノートと比較すると、児童が使えるスペースの狭さ、自由度の低さがある。このことを考慮して、授業において、ノートやワークシートの広いスペースも併用して使用する。児童が常に確認できるように、OPPシートに書く項目は、「単元の学習問題と各時間のめあて・気付き・まとめ・振り返り」であることを明記した画用紙を黒板の横に掲示しておく。

<評価に活用する>

- ・児童の考えの変容を評価する手立てとして、OPP シートを活用する。毎時間の「ま」・「ふ」の記述内容や、つかむ過程とまとめる過程で書かれる記述の内容の変化を評価する。
- ・自分の思いや考えはもっているが、OPP シートに記述することが困難な児童に対しては、机間支援の際に、それぞれの項目で児童自身の考えを聞き取ることで、児童自身が学びを自覚できるようにする。さらに聞き取った内容を基に評価する。

<課題を共有する場面で活用する>

- ・自分の考えを言葉に出すことが苦手な児童でも、思考の変容が OPP シートに書かれていれば、他者に自分の考えを理解されやすい。また、全員が同じ形式のシート使うことで、共有する目的と内容が焦点化し、比較・検討しやすい。
- ・前時を振り返る時は、児童が学習内容を身近なものとして捉え、友達の考え方との共通点を理解したり、相違点を認識したりすることができるようにするために、児童が OPP シートの「ま」や「ふ」に書いた内容を写真に撮って提示する。
- ・教師が OPP シートを写真に撮った上で、提示して活用することも可能であり、児童が自分の新たな考えを補ったり、友達の考えどうしを比較・検討したり、自分の考えに自信をもたせたりすることができる。他者の思考の変容に触れることで、「ま」に書かれた言葉以外の点からも、自分の考えを再構成したり、強固なものにしたりできる。例えば、上位の児童が低位の児童に OPP シートを使って、学習内容や自分の考えを説明する場を設定できる。上位の児童は、学習内容や自分の考えを説明する活動を通して、自分の考えへの理解が強固になり、下位の児童は、学習内容や友達の考えの説明を受けて、不明だった点を明確にできる。

<本単元の学習過程において>

- ・児童が森林を身近なものとして考えられるようにするために、教科書の資料のほかに、群馬県や桐生市の森林の広がりや植樹祭などの取組を衛星写真や動画で見る。
- ・各時間の「め」を児童から出た言葉から設定するために、一単位時間の導入時には、本時までの学習内容で児童が OPP シートの「め」や「ふ」に書いた内容を提示する。
- ・生かす過程において、「自分にできること」を選択・判断するために、OPP シートを基に「問い」と「答え」を作るように促す。
- ・選択・判断する力を育てるために行った、「自分が作った問いに、自分で答える」学習活動を通して、教師や友達に自分が作った問いに答えてもらうなどして、問いの質を確かめながら学習を進めてもよいことを伝える。
- ・学級全体で共有する際には、同じテーマでも多様な考えがあることを児童が実感でき、深い学びにするために、異なる視点で「問い」を作った児童を3名程意図的に指名し、全員で考える時間を設ける。

3 単元の目標

- ・我が国の森林資源の働きや、育成や保護の取組の様子に関心をもって調べ、国土に広がる森林が国土の保全や水資源の涵養などに重要な役割を果たしていることや、森林の育成や保護に取り組む人々の工夫や努力を理解するとともに、環境保全のための国民一人一人の協力の必要性について考えようとする。
- ・我が国の森林資源の働きや、育成や保護の取組の様子から学習問題を見だし、観察・調査したり地図や統計、写真などの資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取ったことを文章や作

品にまとめるとともに、森林資源と国民生活との関わりについて思考・判断したことを適切に表現する。

4 評価規準

関心・意欲・態度	○森林資源の働きや、育成や保護の取組の様子に関心をもち、意欲的に調べる。
思考・判断・表現	○森林資源の働きや、育成や保護の取組の様子について学習問題や予想、学習計画を考え表現する。 ○森林が国土の保全や水資源の涵養などに重要な働きをしており、その保護や育成が大切であることや、森林資源を守るため、環境保全への国民一人一人の協力が必要であることを考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○森林資源の働きや、育成や保護の取組の様子について森林を観察・調査したり資料を活用したりして必要な情報を集める。 ○国土の保全や水資源の涵養に果たす森林資源の役割、森林の育成や保護に取り組む人々の工夫や努力を読み取ってまとめている。
知識・理解	○国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の重要性を理解している。 ○森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力、環境保全のための国民一人一人の協力の必要性を理解している。

5 指導計画（本時は全7時間予定の7時間目）

過程	○学習活動 ・ 児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点
つかむ	○社会的事象と出会い、児童の驚きや疑問を基に単元の学習問題を作る。 ○教科書の資料などから世界や桐生市の森林の様子を知る。 ・森林には、どのような働きがあるだろうか。 ○単元の学習問題の答えを予想し、学習計画を立てる。 ・森林とは何か、分布や働きは何か。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・OPPシートを配付し、使い方を伝える。 ・OPPシートに単元の学習問題を記入することを伝え、児童が学習問題と各学習過程とのつながりを意識できるように使用方法を確認する。 ・振り返りの仕方を伝える。 ・児童が森林を身近なものとして考えられるようにするために、教科書の資料のほか、群馬県や桐生市の森林の広がりや植樹祭などの取組を衛星写真や動画で示す。
追究する	○「世界各国や日本の森林率」について調べ、日本の国土が森林に恵まれていることを理解する。 ○「天然林と人工林」について調べ、天然林と人工林の違いを理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の森林率を比較できるようにするために、教科書や教師が用意した資料などを用いる。 ・次時のつかむ過程に生かすために、天然林では白神山地、人工林では北山杉が有名であることを触れておく。 ・森林の半分以上が天然林、森林の総面積は殆ど変わっていないことを児童が理解できるようにするために、教師作成資料を読み取る。 ・本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解するために、日本の森林の豊かさと種類を押さえる。

		<p>* 語句：「森林率」「天然林と人工林」 * キーワード：「豊かな森林」</p>
○「白神山地」について調べ、天然林の様子について理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・白神山地について調べる際は、児童が調べ学習の視点をもてるようにするために、白神山地の位置、林の種類・働き、川、人々の努力などの観点を示す。 ・調べた情報を共有する際は、児童の言葉を学級全体が理解できるように、教師が言い換えながら共有する形態をとる。 <p>* 語句：「世界遺産」「白神山地」 * キーワード：「国土の安全を保つ」</p>
○「人工林」について調べ、林業に従事している人々の工夫や努力を理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「間伐」について理解を深め、第7時で自分ができることとして「間伐材を使う」という意識をもてるようにするために、前時の白神山地のガイドさんの言葉「すぎ林の手入れである間伐に取り組んでいます」を基に振り返り、間伐材として利用されているものをプレゼンテーションソフトで提示する。 ・児童の意識に「間伐の有用性」が強く残るようにするために、随所で間伐について触れる。その際には、無計画な伐採とは異なることを伝えておく。 <p>* 語句「林業」 * キーワード：「国土の安全を保つ」</p>
○「森林の利用」について調べ、森林資源は様々に利用されていることを理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が前時と本時の学習に「つながり」をもてるようにするために、児童がOPPシートの[ま]や[ふ]に書いた内容を提示する。 ・本時のめあてを児童の言葉を用いて設定するために、「天然林と人工林の違い」や第4時までで得た知識を基に「森林は何のためにあるか」について問い掛ける。 ・本時では、「森林の利用」について視点を置くことを目的とするため、「森林の働き」についての視点は次の時間にまとめて扱うことを伝える。 ・児童にとって、森林の利用を自分と身近なことだと感じられるように、桐生市で行っている森林利用案（木質バイオマスの原料としての利用）を児童に伝え、黒板に写真を提示する。 <p>* 語句「防雪林」「防砂林」「防風林」 * キーワード：「木材を生み出す」</p>
○桐生市における、木材を利用した取組について知る。		

まとめる	<p>○単元の学習問題「森林には、どのような働きがあるだろうか」の答えをまとめる。 【日本の豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出すなどの重要な働きがある】</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・考えが進まない児童の思考を促すために、OPPシートに書かれたまとめの言葉に視点をおき、「豊かな森林」「国土の安全」「木材を生み出す」がキーワードであることを伝える。 ・単元の学習問題の答えを共有する際は、児童から出される前時までに学習した具体的な知識を教師が抽象化し、概念化できるようにする。
生かす	<p>○単元の学習問題の答え「日本の豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出すなどの重要な働きがある」から、＜自分にできそうなこと＞をテーマに「問い」と「答え」を作る。（選択・判断する）</p>	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・OPPシートを基に前時までの学習を振り返り、単元の学習問題の「答え」に視点を当てることで、児童が本時の学習に見通しをもてるようにする。 ・「問い」と「答え」を考える際は、児童の選択・判断の視点が分散しすぎないようにするために、単元の学習問題の「答え」は、各単位時間の[]に表現された視点(キーワード)からできていることを児童に伝える。 ・学級全体で共有する際は、同じテーマでも多様な考えがあることを児童が実感でき、深い学びになるようにするために、発表する児童が作った「問い」を写真に撮って提示し、全員で考える時間を設ける。

6-1. 本時の展開 (1/7)

(1) ねらい

- 世界や国の森林と桐生市の森林を比較することを通して、単元の学習問題を作り、予想と計画を立てる。
- OPPシートの使い方を知る。

(2) 準備

教師：OPPシート、PC、提示資料（プレゼンテーションソフト）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動 ○学習活動 S 予想される児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点
つかむ	<p>○児童が日々使っているものには、木製のものが多数あることを確認する。 S：鉛筆、机、椅子は毎日使っているな。</p> <p>○衛星写真を見て、世界、日本、桐生市の森林が広がっている場所に気付く。 S：森林が多い国もあれば、全くない国もあるな。 S：日本は、多い感じがするな。</p> <p>○動画を視聴し、身の回りで森林に関わる行事が行われていることを知る。 S：植樹行事があるなんて、初めて知ったな。</p> <p>○本時のめあてを決める。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> • OPP シートを配付し、使い方を伝える。 • OPP シートに日付、めを記入するように促す。 • 児童にとっての「森林」を身近なものにするために、プレゼンテーションソフトで、児童が日々使用している木製品（鉛筆・机・椅子・木造住宅）を紹介したり、地図ソフトの衛星写真で、世界・日本・桐生市の順に森林の様子を見たり、動画で植樹行事の様子を見たりできるようにする。 • 本時のめを児童の言葉を使って決めるために、単元の1時間目に行うことを確認する。
<p>め：単元の学習問題を作り、予想と計画を立てる。</p>			
追究する	<p>○木製品、衛星写真、動画に共通しているものは何か考える。 S：どれも「木」が共通しているな。 S：木は、山にあるな。</p> <p>○森林とは、どのようなところか、各自の考えを発表する。 S：広い。木がたくさんある。動物がいそう。 S：言われてみると、わからない。</p> <p>○単元の学習問題を OPP シートに記入する。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> • 「森林」が、本単元の最重要語句であることを、児童が理解できるようにするために、つかむ過程で示した資料の共通点に児童の目を向けるよう促す。 • 「木」単体に目を付ける児童の言葉を拾いながら、木製品が大量生産されているのと同じように、木が大量にある場所はどこか、質問しながら「森林」に繋げるようにする。 • 「森林」とは何なのか、的確に説明できないことに児童が気付くことができるようにするために、「森林とは何か」、単元の学習問題に近い発問を繰り返す、単元の学習問題の設定につなげる。
<p>ま：単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。</p>			
	<p>○単元の学習問題の答えを予測する。 S：森林は、動物が住んでいるな。 S：森林は、山の水をためているよ。</p> <p>○学習問題の答えを出すために何を調べる必要があるか考える。 S：森林には、どのような種類があるか調べよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 単元の学習問題の答えを予測する際は、児童が個人で考えたものと、ほかの考えを比較できるようにするために、学級全体で共有しながら学習を進める。
<p>【思考・判断・表現】（評価方法：OPP シートの「まとめ」） 単元の学習問題と予想と計画が書かれている。</p>			
まとめる	<p>○ OPP シートに本時の振り返りを書く。 S：みんなと話し合っ、単元の学習問題が作れたな。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りは、自分の学習状況を自覚するために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立てや理由は何かを書くように伝える。

S : ○○君の言葉がヒントになって、単元の学習問題が作れたな。	
----------------------------------	--

7. 板書計画 1

板書計画 1/7

OPP シート

- ・めあて
- ・気づき
- ・まとめ
- ・振り返り

↑

黒板横に掲示

わたしたちの生活と森林

① 単元の学習問題を作り、予想と計画を立てる

世界の
森林写真

日本の
森林写真

桐生市の
森林写真

単元の学習問題

② 森林には、どのような働きがあるのだろうか。

予想

- ・動物が住んでいる
- ・山の水をためている

計画

- ・森林には、どのような種類があるのか

・森林が多い国もあれば、全くない国もある。

・日本は、多い。

森林とは？

- ・広い・木がたくさん・動物がいそう。
- ・言われてみると わからない。

もやもや

解決したい

6-2. 本時の展開 (2/7)

(1) ねらい

○「世界各国や日本の森林率」と「天然林と人工林」について調べ、日本の国土が森林に恵まれていることや、天然林と人工林の違いを理解する。

(2) 準備

教師：OPP シート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊）、提示資料（プレゼンテーションソフト）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
	○学習活動 S 予想される児童の意識		
つかむ	○ 前時を振り返る。 S：単元の学習問題を決めて、予想と計画を立てたな。 ○本時のめあてを設定する。 S：森林って何だろう。 S：森林には、どのような種類があるのだろうか。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 前時を振り返る時は、児童が学習内容を身近なものとして捉え、友達の考え方との共通点を理解したり、相違点を認識したりすることができるようにするために、児童がOPPシートの「ま」や「ふ」に書いた内容を提示する。 本時のめあてを児童の言葉を用いて設定するために、本時に必要な学習について問い掛け、返答を活用する。
	「め」：森林には、どのような種類があるのだろうか。		
追究する	○世界と日本の森林率を比べる。 S：日本は森林率が66%もあり、豊かな森林に囲まれているな。 ○天然林と人工林の違いや面積の変化について調べる。 S：天然林は、自然にできたもの。人工林は、人の手で植林したものだな。	30分	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の森林率を比較できるようにするために、教科書や教師が用意した資料などを提示する。 次時のつかむ過程に生かすために、天然林では白神山地、人工林では北山杉が有名であることに触れておく。 森林の半分以上が天然林、森林の総面積は殆ど変わっていないことを児童が理解できるようにするために、教師作成資料を読み取らせる。 <p>* 語句：「森林率」「天然林と人工林」 * キーワード：「豊かな森林」</p>
まとめる	○ OPPシートに本時の学習内容をまとめる。 「ま」：日本は 豊かな森林 が多く、天然林・原生林と人工林の種類がある。 ○OPPシートに本時の振り返りを書く。 S：教科書の資料から、森林の種類が分かったな。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解できるようにするために、日本の森林の豊かさと種類を押さえた上で、個人でOPPシートの「ま」を記入するよう促す。その後、自分が書いたもの以外にも多様なまとめ方があることを知り、考えが広がるようにするために、OPPシートの「ま」をペア・グループ・全体で見せ合ったり、写真に撮って提示したりして共有できるようにする。 振り返りは、自分の学習状況を自覚するために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立てや理由は何かを書くように伝える。

	<p>【観察・資料活用の技能】（評価方法：OPP シートの「まとめ」）</p> <p>日本の森林の様子について、豊かさと種類について書かれている。</p>
--	---

7. 板書計画 2

板書計画 2 / 7

OPP シート

- ・めあて
- ・気付き
- ・まとめ
- ・振り返り

↑

黒板横に掲示

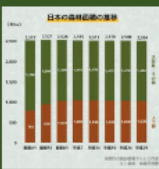
わたしたちの生活と森林 ②

単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。

① 森林には、どのような種類があるのだろうか。

森林率・国土全体に占める森林の割合

日本 66%	<u>天然林</u> ・自然にできたもの
フィンランド 65%	例) 白神山地（青森・秋田）
ロシア 47%	<u>原生林</u> ・人の手が全く入っていないもの
カタール 0%	<u>人工林</u> ・人の手で植林したもの
サンマリノ 0%	例) 北山杉（京都府）



森林の半分以上が天然林

☆森林の総面積は、ほとんど変わっていない

② 日本は豊かな森林が多く、天然林・原生林と人工林の種類がある。

6-3. 本時の展開 (3/7)

(1) ねらい

○「白神山地」について調べ、天然林の様子について理解する。

(2) 準備

教師：OPPシート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊） 提示資料（プレゼンテーションソフト）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・地図帳・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
つかむ	<p>○学習活動 S予想される児童の意識</p> <p>○ 前時を振り返る。 S：日本は森林が多く、天然林・原生林と人工林の種類があったな。</p> <p>○本時のめあてを設定する。 S：天然林って具体的にどのようなものなのかな。 S：白神山地が世界遺産だったな。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 児童が前時と本時の学習に「つながり」をもてるようにするために、児童がOPPシートの「ま」や「ふ」に書いた内容を提示する。 本時のめあてを児童の言葉を用いて設定するために、「天然林が有名な場所」について問い掛け、返答を活用する。
追究する	<p>○白神山地の様子について調べる。 S：白神山地は、どこにあるのかな。 S：「ぶな」ってどのような木かな。 S：赤石川ってどのような様子かな。</p> <p>○白神山地の様子について共有する。 S：白神山地は、青森・秋田にかけて広がっているな。 S：白神山地は、ぶなの木で有名だな。 S：白神山地には、赤石川が流れているな。 S：白神山地は、ガイドさんが案内や間伐をしてるな。 S：白神山地のぶな林は、生きもののすみかだな。 S：白神山地は、綺麗な水を生み出しているな。 S：白神山地は、世界遺産なのだな。 S：白神山地は、原生林があるのだな。 S：私が調べた事柄と同じだな。 S：僕が調べなかったことを聞いたぞ。 S：初めて知ったことがあるな。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> 白神山地についての情報を集めるために、教科書・地図帳を活用するよう促す。 白神山地について調べる際は、児童が調べ学習の視点をもてるようにするために、「白神山地の位置、林の種類・働き、川、人々の努力など」の観点を示す。また、世界遺産について、教科書P101の「ことば」を用いて、児童に伝える。 調べた情報を共有する際は、児童から出た言葉をほかの児童が理解できるように、教師が言い換える形態をとる。 情報を共有する際は、自分では気付かなかったことを自覚し、知識を広げたり深めたりするために、友達や教師の言葉で気付いたことをOPPシートの「き」に記入するように促す。 <p>* 語句：「世界遺産」「白神山地」 * キーワード：「国土の安全を保つ」</p>

まとめる	<p>○OPPシートに本時の学習内容をまとめる。</p> <p>ま：白神山地は世界遺産。天然林は、水資源、動物のすみかなど国土の安全な場になっている。</p> <p>○OPPシートに本時の振り返りを書く。 S：教科書で調べたり、友達から聞いた りして、「白神山地」の様子が分 かった。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解するために、天然林が水資源、動物のすみかなど国土の安全な場になっていることを押さえた上で、個人でOPPシートのまを記入するよう促す。その後、ペア・グループ・全体で見せ合ったり、写真に撮って提示したりできるようにする。 ・振り返りは、自分の学習状況を自覚するために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立て（理由）は何かを書くように伝える。 <p>【知識・理解】（評価方法：OPPシートの「まとめ」） 白神山地の様子について、調べた内容を基に書かれている。</p>
------	--	----	---

7. 板書計画3

板書計画 3/7

OPPシート

- ・めあて
- ・気づき
- ・まとめ
- ・振り返り

↑
黑板横に掲示

わたしたちの生活と森林 ③

単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。

④天然林で有名な「白神山地」とは、どのようなところだろう

<白神山地>世界遺産・青森・秋田

- ・ぶなの木
- ・赤石川
- ・ガイドさんが案内・杉林を**間ばっ**
- ・生きもののすみか
- ・きれいな水を生み出している
- ・原生林

国土の安全な場

混みすぎた林の中の木を
一部の木を切って日当た
りをよくすること

⑤白神山地は世界遺産。ぶな林などの天然林は、水資源、動物のすみかなど**国土の安全な場**になってい

6-4. 本時の展開 (4/7)

(1) ねらい

- 「人工林」について調べ、林業に従事している人々の工夫や努力を理解する。

(2) 準備

教師：OPP シート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊）、提示資料（プレゼンテーションソフト）、視聴資料（NHK for School「未来広告ジャパン！・林業の仕事」）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
	○学習活動 S 予想される児童の意識		
つかむ	○ 前時を振り返る。 S：白神山地は世界遺産。ぶな林が水源、動物のすみかや、観光の場になっていたな。 S：赤石川も大切な役割を果たしていたな。 ○本時のめあてを設定する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が前時と本時の学習に「つながり」をもてるようにするために、児童が OPP シートの ま や ふ に書いた内容を提示する。 ・本時のめあてを児童の言葉を用いて設定するために、「人工林とは何か」について問い掛け、第2時で得た知識の返答を活用する。
	め ：人工林では、誰がどのような働きをしているか。		
	S：天然林は分かったけど、人工林ってどのような様子なのかな。		
追究する	○人工林について調べる。 S：京都の北山杉が有名だな。 S：天然林とは、木の並び方が違うな。 ○林業で働く人の努力と工夫・不安について調べる。 S：なえ木を育てるところから、切り出しまで様々な工程に従事しているな。 S：林業で働く人の数が減ってきているな。 ○人工林の一生について共有する。 S：「①苗木を育てる②植林③下草かり④枝打ち⑤間伐⑥切り出し、搬出」の工程で管理されている。 S：間伐って大事な作業だな。 S：私が調べた事柄と同じだな。 S：僕が調べなかったことを聞いたぞ。 S：初めて知ったことがあるな。	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林や林業についての情報を得るために、動画資料・教科書の資料を活用するよう促す。 ・「間伐」について理解を深め、第7時で自分ができることとして「間伐材を使う」という意識をもてるようにするために、前時の白神山地のガイドさんの言葉「すぎ林の手入れである間伐に取り組んでいます」を基に振り返り、間伐材として利用されているものをプレゼンテーションソフトで提示する。 ・児童の意識に「間伐の大切さ」が強く残るようにするために、いろいろな場面で間伐について触れ、無計画な伐採とは異なることを伝えておく。 <p>* 語句「林業」 * キーワード：「国土の安全を保つ」</p>
まとめる	○OPP シートに本時の学習内容をまとめる。 ま ：人工林を管理するために、林業で働く人々は、間伐材を利用するなど努力を進めている。 ○OPP シートに本時の振り返りを書く。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解するために、間伐材の利用について押さえた上で、個人で OPP シートの ま を記入するよう促す。 ・個人で OPP シートの ま を記入した後、ペア・グループ・全体で見せ合ったり、写真に撮って提示したりして共有できるようにする。

<p>S : 教科書で調べたり、友達から聞いた りして、人工林では、誰がどのよう な働きをしているかが分かった。</p>	<p>【知識・理解】（評価方法：OPP シートの「まと め」） 人工林で誰がどのような働きをしているかが 書かれている。</p> <p>・振り返りは、自分の学習状況を自覚するために、 めあてが達成できたかどうか、また、その手立て （理由）は何かを書くように伝える。</p>
--	--

7. 板書計画 4

板書計画 4/7

OPP シート

- ・めあて
- ・気づき
- ・まとめ
- ・振り返り

↑

黒板横に掲示

わたしたちの生活と森林 ④

単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。

㊦人工林では、だれがどのような働きをしているか。

<人工林> 京都・北山杉

・天然林とは、木のならび方がちがう

林業で働く人々

努力

30年～40年かけて育てる

工夫

砂でみがいて表面のでこぼこもようを出す

<人工林の一生>

- ①苗木を育てる
- ②植林
- ③下草かり
- ④枝打ち
- ⑤間ばつ
- ⑥切り出し、搬出

㊧人工林を管理するために林業
で働く人々は、間ばつ材を利用す
るなど努力を進めている。

木を育てて切って売る

6-5. 本時の展開 (5/7)

(1) ねらい

- 「森林の利用」について調べ、森林資源は様々に利用されていることを理解する。

(2) 準備

教師：OPPシート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊）、提示資料（プレゼンテーションソフト）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
	○学習活動 S予想される児童の意識		
つかむ	○前時を振り返る。 S：人工林を管理するために林業で働く人々は、間伐材を利用するなど努力を進めていたな。 ○本時のめあてを設定する。 S：天然林は、白神山地を代表とする場所だったな。人の手も多少は入って、間伐などを行っているな。 S：人工林は、北山杉みたいに管理されている林だな。林業の人々が努力しているな。 S：間伐材を利用した製品があったな。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が前時と本時の学習に「つながり」をもてるようにするために、児童がOPPシートの「ま」や「ふ」に書いた内容を提示する。 ・本時のめあてを児童の言葉を用いて設定するために、「天然林と人工林の違い」や第4時までに得た知識を基に「森林は何のためにあるか」について問い掛ける。 ・本時では、「森林の利用」について視点を置くことを目的とするため、「森林の働き」についての視点は次の時間にまとめて扱うようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「め」：森林は、どのように利用されているのか。 </div>		
追究する	○森林の利用について調べる。 S：木を使った製品があったな。 S：紙製品も元々は、木が原料だな。 S：防雪林、防砂林、防風林としても利用されているな。 ○木材を利用した取組について知る。 S：桐生でも森林の活用のために頑張っている人がいるのだな。	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用について情報を得るために、教科書の資料を用いるよう促す。 ・森林の利用について、学級全体で木の利用のされ方の情報を共有するため防雪林、防砂林、防風林や木材製品について、教科書の資料をプレゼンテーションソフトを用いて提示する。 ・児童にとって、森林の利用を自分と身近なことだと感じられるように、桐生市で行っている森林利用案（木質バイオマスの原料としての利用）を児童に伝え、黒板に写真を提示する。 <p>* 語句「防雪林」「防砂林」「防風林」</p> <p>* キーワード「木材を生み出す」</p>
まとめる	○OPPシートに本時の学習内容をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「ま」：森林は、木材を生み出し、製品になったり、人々の生活を守ったりするために利用されている。 </div> ○OPPシートに本時の振り返りを書く。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解するために、森林が木材を生み出すことについて押さえた上で、個人でOPPシートの「ま」を記入するよう促す。 ・個人でOPPシートの「ま」を記入した後、ペア・グループ・全体で見せ合ったり、写真に撮って提示したりして共有できるようにする。

<p>S : 調べたり、先生の話の話を聞いたりして、森林がどのように利用されているか分かったな。</p>	<p>・振り返りは、自分の学習状況を自覚できるようにするために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立て（理由）は何かを書くように伝える。</p> <p>【知識・理解】（評価方法：OPP シートの「まとめ」）森林がどのように利用されているかが書かれている。</p>
--	--

7. 板書計画 5

板書計画 5/7

OPP シート

- ・めあて
- ・気づき
- ・まとめ
- ・振り返り

↑

黒板横に掲示

わたしたちの生活と森林 ⑤

単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。

④森林は、どのように利用されているのか。

- ・木を使った製品
- ・紙製品

製品

- ・防雪林
- ・防砂林
- ・防風林

人々の生活を守る

桐生市の森林利用 → 木質バイオマス

写真

⑤森林は、木材を生み出し、製品になったり、人々の生活を守ったりするために利用されている。

6-6. 本時の展開 (6/7)

(1) ねらい

○単元の学習問題「森林には、どのような働きがあるだろうか」の答えをまとめる。

(2) 準備

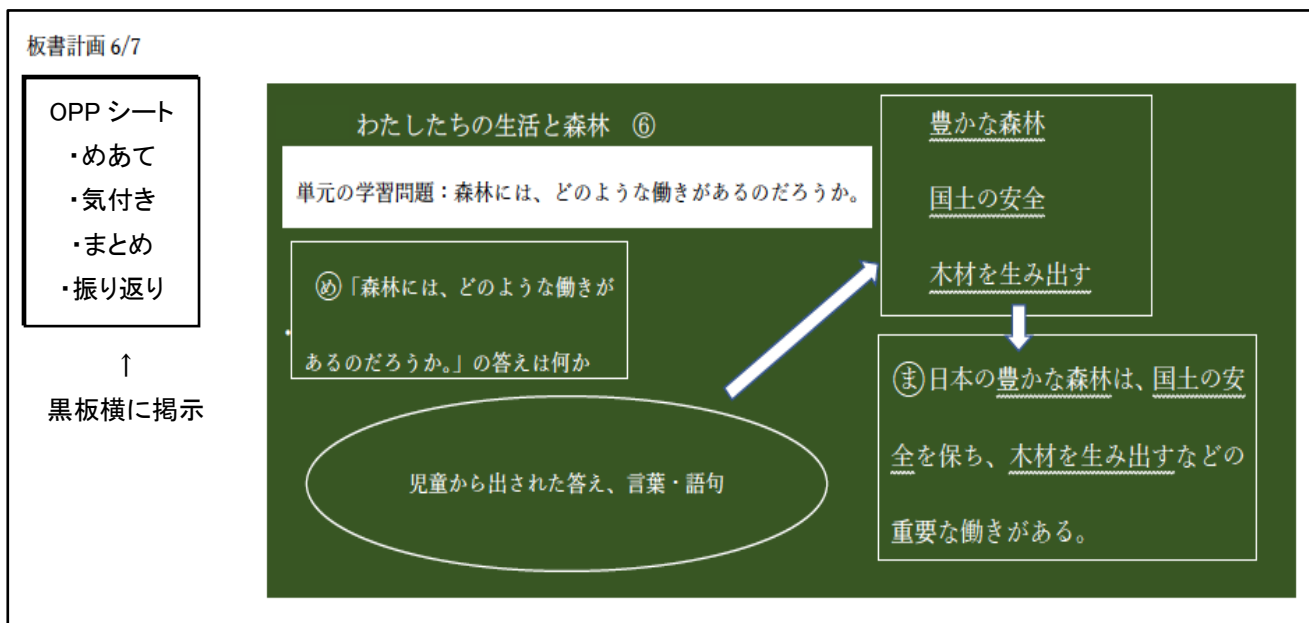
教師：OPP シート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊）、提示資料（プレゼンテーションソフト）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
つかむ	<p>○学習活動 S 予想される児童の意識</p> <p>○ 前時までを振り返る。 S：天然林と人工林の違い、人々の努力、森林の利用について分かったな。</p> <p>○本時のめあてを設定する。 S：今日の学習が単元の学習問題の答えになり、「まとめ」になるのだな。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 児童が単元の学習問題と本時の学習に「つながり」をもてるようにするために、児童が OPP シートの ま や ふ に書いた内容を提示する。 前時までの学習内容を基に単元の学習問題の答えを導くのが本時であるという意識をもてるようにするために、OPP の記述を振り返るよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>め：単元の学習問題「森林には、どのような働きがあるのだろうか」の答えは何か。</p> </div>
追究する	<p>○OPP を基に単元の学習問題の答えを考える。 S：今までの ま を活用すればいいのかな。</p> <p>○単元の学習問題の答えを共有する。 S：私が書いた内容と同じだな。 S：僕が書いてなかったことを聞いたぞ。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> 手がつかない児童の思考を促すために、OPP シートにか書かれたまとめの言葉に視点をおき、「豊かな森林」「国土の安全」「木材を生み出す」がキーワードであることを伝える。 情報を共有する際は、児童が書いた内容と言葉を教師が繋ぎながら、本時のまとめにする。 単元の学習問題の「答え」を共有する際は、児童から出される前時までに学習した具体的な知識をどの場面でも活用できるように、教師が概念化する。
まとめる	<p>○OPP シートに本時の学習内容をまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ま：日本の豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出すなどの重要な働きがある。</p> </div> <p>○OPP シートに本時の振り返りを書く。 S：先生や友達の話聞いて、森林がどのように利用されているか分かったな。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする際は、本時のめあてを学級全体で共通理解するために、前時までのまとめを OPP で振り返った上で、個人で OPP シートの ま を記入するよう促す。 個人で OPP シートの ま を記入した後、ペア・グループ・全体で見せ合ったり、写真に撮って提示したりして共有できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】（評価方法：OPP シートの「まとめ」）</p> <p>単元の学習問題の答えが書かれている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りは、自分の学習状況を自覚できるようにするために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立て（理由）は何かを書くように伝える。

7. 板書計画 6



6-7. 本時の展開 (7/7)

(1) ねらい

○単元の学習問題の答えから、「問い」と「答え」を作り、社会への関わり方を選択・判断する。

(2) 準備

教師：OPP シート、掲示資料（単元の学習問題を示した短冊）

児童：教科書（東京書籍）・社会科資料集（光文書院）・ノート・筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点												
	○学習活動 S 予想される児童の意識														
つ か む	○前時を振り返る。 S：単元の学習問題の答えをまとめたな。 S：単元の学習問題の答えは、「日本の豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出すなどの重要な働きがある」だったな。 ○本時のめあてを確認する。 S：OPP シートから今日が単元の最後の時間だと分かるな。	10分	<ul style="list-style-type: none"> OPP シートを基に前時までの学習を振り返るために、前時に児童が OPP シートの「ま」や「ふ」に書いた内容を提示し、「単元の学習問題の答え」から本時の学習活動が展開されることを伝える。 前時までの学習内容を基に、自分にできることは何かという「問い」と「答え」を作るのが本時であるという意識をもてるようにするために、OPP の記述を振り返るよう促す。 												
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ④：自分にできることは何か。「問い」と「答え」を作ろう。 </div>														
	S：OPP から今までの学習内容が分かるな。 S：「自分にできること」を考える時間だな。 S：「問い」と「答え」ってどうやって作るのかな。S：自由に作っていいのかな。 ○本時の学習の進め方を知る。 S：OPP を活用すればいいのだな。 S：困ったら、友達に相談してもいいのだな。		<ul style="list-style-type: none"> 先に「問い」を作り、次に「答え」を作る児童と、「答え」から「問い」を作る児童が出ることが予想される。しかし順序性は問わず、自分にできることは何かを考えて「選択・判断」している児童の取組を称賛し、ほかの児童の意欲付けを図る。 												
追 究 す る	○「問い」と「答え」を考える。	30分	<ul style="list-style-type: none"> 「問い」と「答え」を考える際に、児童の選択・判断の視点が分散し過ぎないようにするために、単元の学習問題の答えは、各単位時間の「ま」に表現された視点（キーワード）からできていることを児童に伝える。 学級全体で共有する際は、同じテーマでも多様な考えがあることを児童が実感できるようにすることを通して、個人の考えを深めるために、3名程度の児童が作った「問い」を提示し、全員で考える時間を設ける。 												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">テーマ</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">自分にできそうなこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">視点</td> <td style="width: 25%;">豊かな森林</td> <td style="width: 25%;">国土の安全を保つ</td> <td style="width: 25%;">木材を生み出す</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">問い</td> <td>豊かな森林を守るために、どのようなことがで</td> <td>国土の安全を保つために、どのようなことができますか</td> <td>木材を生み出すために、どのようなことができ</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	自分にできそうなこと			視点	豊かな森林	国土の安全を保つ	木材を生み出す	問い	豊かな森林を守るために、どのようなことがで	国土の安全を保つために、どのようなことができますか	木材を生み出すために、どのようなことができ		
テーマ	自分にできそうなこと														
視点	豊かな森林	国土の安全を保つ	木材を生み出す												
問い	豊かな森林を守るために、どのようなことがで	国土の安全を保つために、どのようなことができますか	木材を生み出すために、どのようなことができ												

	きますか		ますか	<p>【思考・判断・表現】（評価方法：OPP シートの「まとめ」）</p> <p>単元の学習問題の答えから、「問い」と「答え」が「自分にできること」の視点で書かれている。</p>
答え	植樹行事に参加したい	世界自然遺産について詳しく調べてみたい	間伐材を使った割り箸を使いたい	
	○「問い」と「答え」を発表し、学級全体で共有する			
まとめる	○OPPシートに本時の振り返りを書く。 S：OPPシートを使って「問い」と「答え」が作れたな。			5分 ・振り返りは、自分の学習状況を自覚できるようにするために、めあてが達成できたかどうか、また、その手立てや理由は何かを書くように伝える。

7. 板書計画 7

板書計画 7/7

OPPシート

- ・めあて
- ・気付き
- ・まとめ
- ・振り返り

↑

黑板横に掲示

わたしたちの生活と森林 ⑦

単元の学習問題：森林には、どのような働きがあるのだろうか。

単元の学習問題の答え：日本の豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出すなどの重要な働きがある。

④ 自分にできることは何か。「問い」と「答え」を作る。

児童から出された「問い」と「答え」

*使われているキーワード（豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出す）ごとに分類して板書する。

児童から出された「問い」と「答え」

*使われているキーワード（豊かな森林は、国土の安全を保ち、木材を生み出す）ごとに分類して板書する。

⑤

自分で作った問いと答えをOPPシートに書く